

# カトリック河原町教会だより

2024年5・6月

## 教皇フランシスコ 第1回「世界こどもの日」教皇メッセージ（抜粋）

大好きな子どもたち！

初めての世界こどもの日が近づいてきました。ローマでは、5月25日と26日に行われます。だからあなたたちに、メッセージを送ろうと思いました。このメッセージを受け取ってもらえたらうれしいです。わたしはまず、だれよりもあなたに、大好きな子どもたちの一人ひとりにお話します。そしてまたこのメッセージを、あらゆる人にもあてます。皆さん全員が大切な存在だからです。皆、近くの人でも遠くの人でも、わたしたち皆の一人ひとりが、一緒に成長し、新しい自分になりたいという願いを現しているからです。わたしたちは全員が子であり兄弟姉妹です。だれかがこの世に送り出してくれなければだれも存在できませんし、自分にとって愛する人、また自分を愛してくれる人なしに成長できる人もいません（回勅『兄弟の皆さん』95参照）。

ですから、こどもの皆さんはだれもが、あなたたちの親にとって、家族にとっての喜びです。さらには人類の喜びでもあり、教会の喜びでもあります。皆さんの一人ひとは、過去から来て未来へと続く長い長い鎖の輪の一つのようなもので、その鎖が地球全体を覆っているのです。あなたたちと同じくまだまだ子どもなのに、病院や家で病気や障害に負けずにがんばっている子、戦争や暴力の犠牲になっている子、飢えや渇きに苦しんでいる子、路上で暮らしている子、親と引き離されて兵士にさせられたり避難民になったりしている子、学校に行けない子、犯罪組織や薬物などの何か逃れられないものや虐待の犠牲になっている子たちのことです。つまり今日、残酷にも子ども時代を奪われているすべての子たちです。こどもの皆さん、その子たちの声に耳を傾けてください。いえ、わたしたち皆で耳を傾けましょう。その子たちの苦しみは、わたしたちに現実を伝えているからです。涙で洗われた目で訴え、恐ろしい悪を目にして抱く幸福への強い願いを通してそれを教えてくれるのです。イエス様はこうおっしゃいます。「見よ、わたしは万物を新しくする」（黙示録 21・5）。これが、第1回「世界こどもの日」のテーマに選んだ聖句です。この聖句は、聖霊がわたしたちの内面と周囲とに生み出す新しさをつかむのに、こどものように機敏であるよう招いています。イエス様といえば、わたしたちは新しい人類を夢見ることができますし、もっと兄弟愛のある社会、わたしたち皆で住む家である地球を思いやる社会のために一生懸命になれます。神様はどんなときもわたしたちを愛してくださっていて（エレミヤ 1・5参照）、お父さんのようにだれよりも深い愛のまなざしを、お母さんのようにだれよりも優しいまなざしを注いでくださっています。神様はわたしたちを決して忘れはしません（イザヤ 49・15参照）。毎日、わたしたちに寄り添っておられ、ご自分の霊によってわたしたちを新たにしてくれます。



## 愛と慈しみに満ちたこの宇宙で

洛東ブロック担当司祭 菅原友明

ゴールデンウィークのある日、空海生誕 1250 年を記念して開催されている奈良国立博物館の特別展を訪れました。この展覧会では、空海が伝えた密教のマンダラ世界が体感できるような工夫が凝らされていました。会場に入ると、京都山科安祥寺の 5 体の仏様（五智如来像、平安時代、令和元年国宝指定）が座しておられます。通常は 5 体が横一列に並んで展示されるのですが、今回は、マンダラの立体世界を再現すべく、広々とした空間が惜しみなく活かされ、中央に大日如来、少し離れてそれに背を向ける形で四方に他の 4 体の仏様がいまし、あたかも私自身がそのマンダラ世界に身を置いているかのような気がしてきます。

インドネシア国立博物館から出展されていた金剛界曼荼羅彫像群の展示エリアでは、さらに深くマンダラの世界観を体得できました。マンダラと聞くと大きな平面に仏様の絵がぎっしり描かれている絵画の印象が強かったのですが、本来マンダラは立体的で躍動的な世界であり、仏様はいわば大小とりどりの「球体」の中におられるイメージで、それぞれの仏様たちは、あたかも太陽を中心に同心円構造をなす惑星たちのように、大日如来を中心に回り続けておられるのです。

ふと思い出したのは、手塚治虫の『火の鳥』（未来編）の主人公マサトが火の鳥から見せられた全宇宙のヴィジョンです。地球は太陽を中心に、太陽系は銀河系の核を中心に、銀河系は銀河団の核を中心に…と、どこまで巨大になっても果てしなく同心円構造が繰り返されていて、反対に人間の体内のミクロの世界も同様に、原子核を中心に電子が回り、その一つ一つの電子の中に入っても、そこには同じような同心円構造が無数にあり…と、どこまで小さくてもこれが繰り返されていくのです。マンダラが表現し伝えようとしているのは、宇宙全体から素粒子にいたるまでのすべての「球体」に仏様がましまし、私達が生きるこの世界のどこをどう切っても、そこには仏の愛と慈しみと救いがぎっしりと満ちておられるという、宇宙の真の姿なのではないか…、曼荼羅彫像群の展示を見ながら、そんなことが直感できました。

聖書の言葉が思い浮かびます。「御言葉はあなたの近くにあり、あなたの口、あなたの心にある」（ローマ書 10:8、申命記 30:14）。昔勉強してすっかり忘れていた「種子的ロゴス」（この宇宙のありとしあるものの中にはロゴス《=御言葉=キリスト》が分有されているという古代教父聖ユスティノスの思想）という言葉も現実感を伴ってよみがえってきます。神はどこか遠くにおられるのではなく、今をこうして生きているこの私の内に、そして私を取りまくすべてに、もうすでに神が満ち溢れておられるのでしょうか。「我らは神の中に生き、動き、存在する」（使徒言行録 17:28）。「神はすべてにおいてすべてを満たしています」（エフェソ 1:23）。マンダラ世界の中に身を置いている気になったと書きましたが、錯覚でもなんでもなく、私達は、どんなときにも、神の愛と慈しみと救いに満ちあふれたこの宇宙に包み込まれて生きているのです。心を神に向けたその一瞬で、あふれる愛と祝福に満たされることを、いつも忘れないでいたいと思います。



## ベトナムの聖母への奉献式ミサ

5月26日 10:30 から大塚司教様、ナン神父様、四日市サレジオ神学院のフ神父様の司式によりベトナムの聖母への奉献式ミサが執り行われました。ミサの中でベトナム青年による踊りが舞われ、華やかな雰囲気の中、大いに盛り上がりマリア像に花が奉納されました。



## 5月23日河原町カトリック会館 竣工祝福式の様子

5月23日 10:00 から大塚司教様、北村神父様、瀧野神父様、菅原神父様、ナン神父様、ソ神父様により竣工祝福式が執り行われ、司教様より河原町カトリック会館の祝福と工事関係者への祝福が与えられました。

## 新しい集会室が完成

日曜日 10:30 ミサ後のお茶サービスが再開しています。



## 子ども初聖体の様子

4月7日 10:30 から菅原神父様司式により初聖体のミサが行われ、6名、また4月14日には1名が初聖体を頂きました。



2024年6月～8月までの主な予定◇(予定は変更になる場合があります)◇

月	日	曜日	行事予定
6	2	日	キリストの聖体(年間第9週)
	7	金	イエスのみ心
	9	日	[年間第10主日]
	16	日	[年間第11主日] 京都南部地区合同堅信式 14:00
	23	日	[年間第12主日] 聖ペトロ使徒座への献金
	29	土	聖ペトロ 聖パウロ使徒
	30	日	[年間第13主日] 大塚司教様霊名のお祝い・チェジュ教区交流月間ミサ 10:30
7	1	月	福者ペトロ岐部司祭と187殉教者
	7	日	[年間第14主日]
	14	日	[年間第15主日]
	21	日	[年間第16主日]
	27	土	Sr.テッシー霊名のお祝い 18:30 集会祭儀中
8	28	日	[年間第17主日]
	4	日	[年間第18主日]
	6	火	主の変容 日本カトリック平和旬間(~15日)
	8-10	木-土	土曜学校錬成会
	11	日	[年間第19主日] 平和旬間行事 戦争と平和写真展
	15	木	聖母の被昇天ミサ 7:00、10:30
	18	日	[年間第20主日]
25	日	[年間第21主日]	

## 主日ミサ(集会祭儀)の時間

土曜日 18:30

日曜日 7:00、10:30、  
12:00(英語・第2第4のみ)

## 週日ミサの時間

水曜日 9:30

金曜日 10:30

最新の情報はウェブサイト参照

## 講座の時間(休講の日も有り)

これから洗礼を受けられる方向け

## 洗礼準備講座

土曜日 11:00(菅原神父)  
「キリスト教とは何か」

## 一般向け

キリスト教入門講座  
金曜日 19:00(瀧野神父)  
「キリスト教の輪郭」キリスト教入門講座  
土曜日 16:00(Sr.テッシー  
のチーム)「こころにひかりを」

## 養成講座(信徒・一般向け)

## 読書会

遠藤周作「キリストの誕生」

## 読書会

水曜日 10:00(瀧野神父)

## 聖書通読会

木曜日 11:00(菅原神父)

## 聖書の集い

金曜日 11:00(Sr.テッシー)

## 聖体顕示式

第3土曜日 15:15(菅原神父)

「ガラテヤ書」を読む

第1土曜日 19:20(菅原神父)

「マルコ福音書」を読む

第2日曜日 11:40(菅原神父)

「これから洗礼を受けられる方  
向け」は事務室か  
rakuto.nyumon.class@gmail.co  
mまで事前にご相談ください。

カトリック河原町教会だより 2024.5・6 カトリック河原町教会広報部発行

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423 発行責任者: 洛東ブロック司牧チーム

TEL: 075-231-4785 FAX: 075-211-8021 URL: <http://CatholicKawaramachi.Kyoto>